

市政記者各位

2022年3月30日
福岡市博物館

福岡市博物館 4月からの企画展示
ふくおかの歴史や文化の魅力を紹介する4つの企画展を開催します
「人形屋嘉平」「死の考古学」「いきもの文化誌－海の巻」「福岡の青銅器展」

福岡市博物館では、歴史、考古、民俗、美術の各分野の学芸員が、さまざまなテーマを設け、博物館資料や館外の文化財を展示しています。4月からは、以下の4つの企画展を開催いたします。ふくおかの歴史や文化の魅力を再発見できる本展示を、ぜひご取材頂きますようお願いいたします。

① 人形屋嘉平 4月5日(火)～6月12日(日)

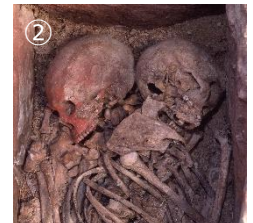
大正～昭和期を代表する博多人形師として博多人形界を牽引し、多くの芸術性の高い作品を残した原田嘉平。昭和41年には、博多人形師として初めて福岡県の無形文化財保持者に認定されました。本展では、館蔵作品約30点を通して、原田嘉平の世界を紹介します。



原田嘉平作「夕映え」

② 死の考古学 4月5日(火)～7月10日(日)

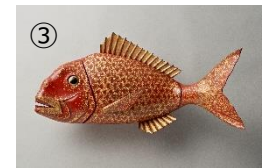
戦争や疫病・飢饉などに見舞われた古代、死は現代よりもずっと「身近」なものでした。コロナ禍の中で死を少し「身近」に感じる今、考古資料を通して生と死を考えます。



石棺に埋葬された人々(卵内尺古墳)

③ いきもの文化誌－海の巻 4月12日(火)～6月19日(日)

くらしの中で、人といきものはどのように関わってきたのでしょうか。私たちは、いきものを命の糧としてだけでなく、それを愛で、文学や芸術の題材としても取り上げてきました。本展では、海のいきものをテーマに、絵図やくらしの道具などを通して、福岡の文化や風習について紹介します。



鯛型漆器

④ 福岡の青銅器展 4月19日(火)～6月12日(日)

弥生時代を特徴づける「モノ」として「青銅器」があります。福岡は、日本でも有数の青銅器出土量を誇ります。本展は、福岡出土の弥生時代の青銅器を一堂に展示する貴重な機会となります。



「日本最古の王墓」
吉武高木遺跡
3号木棺墓出土遺物

【開催概要】

- ・場 所 : 福岡市博物館 2階 企画展示室1～4
- ・時 間 : 9時30分～17時30分(入館は17時まで)
- ・休館日 : 月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日休館)
- ・観覧料 : 一般200(150)円 高大生150(100)円
中学生以下無料

()内は20人以上の団体料金、料金は常設展示室・企画展示室共通